

# 住信為替ニュース

THE SUMITOMO TRUST & BANKING CO., LTD FX NEWS

第1990号 2009年10月19日(月)

## 《 weak reasons to support dollar 》

先週指摘したとおり、「ドルを取り巻く環境」は変化しつつあります。そこで挙げた「アジア各国中銀によるドル安阻止のための介入」「トリシェやガイトナーによるドル価値維持の必要性強調」「米国内のドル安批判」という状況に加えて、先週一週間には

- 「米企業業績の好調による株価好調でのリスクテーク・ムードの台頭」
- 「米長期金利の上昇傾向」
- 「米中銀の出口戦略示唆による円売りの動き」

が要素として台頭。特にドル・円でのドルの下げ渋りからゆっくりとした円安・ドル高への動きを誘発した。もっとも、ドル・円の上値はアメリカ経済が抱える問題（消費不振、失業率の高止まり見通しなど）や米通貨当局のドル価値維持に関わる決意の程が明確でないことなどからはっきりしない。恐らくそれほど上値はないだろう。それは、日本で一万円（日経平均）、アメリカで1万ドル（ダウ工業株30種）の大台にいったん乗せた株価も、その後の動きを予想するとそれほど大きな上値余地がないように見えるのと似ている。

しかし一つ明確なのは、ドルが一方向的に下げる時期は過ぎたということだ。これからのドルの下げは、アメリカにとってもオバマ政権の統治能力を問われるような問題に発展する可能性がある。特に欧州や中国はこの事を非難するだろうし、アメリカ国内でも「ドル安放置」には批判が強くなっている。加えて、アメリカでは徐々に財政赤字の増大とともに、長期金利が上昇を開始している。日本が財政赤字を大部分国内貯蓄で調達しているのと対照的に、アメリカは中国や日本などの海外諸国に依存している。ということは、赤字が増えると必然的にそれを埋め合わせるために発行される債券は、魅力が必要ということになる。

それにしても、民主党の政策運営はあぶなっかしい。初めて政権を取ったわけだから全体としてもバランスの取り方が分からないのは分かるし、最初からそれほどうまく行くとはい予想されていなかった。しかし、一部の大臣の発言や行動は、市場から見れば危うく見える。藤井財務大臣の就任早々の発言は、真意は別にして円相場の円高方向への動きを加速したし、亀井金融大臣の発言は“モラトリアム”というおどろおどろしい言葉と相まって、日本の金融システムに対する先行き不安を高め、日本における金融機関の経営の先行きに対する

不安感を強めた。

前原国土交通大臣の一連の発言は、気持ちが積極的なのは分かるが、新政権の政策が「マニフェスト第一主義」で硬直性の高い、それゆえに各方面から風当たりが強い、実効性に疑念がつくものであることを鮮明にした。また発足 1 ヶ月の段階で即断は出来ないが、国民の支持率が高いうちにこうした問題点を早急に是正しないと、衆議院での多数獲得にも関わらず、今はまだ高い支持率の急落に見舞われかねない。加えて来年度の各省庁の予算概算要求は、今既に明らかになっているモノだけでも 95 兆円を優に超えている。来年もし高速度道路の無料化が行われるとすると、現在 40 兆円と見込まれている財源は一段と落ち込む。まごまごすると、「単年度で軽く 50 兆を超える財政赤字」といった非常事態になりかねない。

一連の懸念があるからこそ、日本の株価はニューヨークを含めて世界の多くの株価がリーマン・ショック以前の水準を回復しているのに、当時より今でも 2000 円も低い状況に置かれていると言える。

今週の主な予定は以下の通り。

10月19日(月)	8月第3次産業活動指数 日銀支店長会議 新型インフルエンザの国産ワクチンの接種開始(費用は一律 6150 円) 米 10 月 NAHB 住宅市場指数 バーナンキ米 FRB 議長講演(サンフランシスコ連銀のアジア経済政策会議で) インド市場休場
10月20日(火)	8月景気動向指数(改定値) 9月コンビニエンス売上高 米9月生産者物価 米9月住宅着工件数 9月北米半導体製造装置 BB レシオ
10月21日(水)	米ベージュブック 英中銀金融政策委員会議事録公表(10月分)
10月22日(木)	9月貿易収支 9月全国スーパー売上高 Windows7 日本語版発売 米9月コンファレンスボード景気先行指標総合指数 米8月住宅価格指数

10月23日(金)

中国7-9月期GDP  
中国9月生産者物価  
中国9月消費者物価  
中国9月小売売上高  
中国9月鉱工業生産  
中国9月固定資産投資  
米9月中古住宅販売件数  
英7~9月GDP(速報)

### 《 have a nice week 》

週末はいかがでしたか。本当に秋らしい日々になってきました。朝が明るくなるのも相当遅くなった。アメリカが夏時間から標準時間に移るのもいよいよ来週の日曜日ということで、季節はいよいよ秋本番から冬に向かう。

それにしても、この週末はスポーツが面白かった。日本ゴルフ選手権は前半のダボから石川選手は立ち直ったかにみえたものの、「あの2打がなかったら」という展開。それにしても、ダボの原因になったのが観客のシャッター音というのは非常に残念です。最低のマナーも守れないようなら、ゴルフを見に行っても欲しくないですね。

野球も中日対ヤクルトはちょっとかったるい試合でしたが、一勝一敗で今日決着がつく。レギュラーシーズン負け越しのヤクルトがセリーグ代表となったら、「この制度はなんなのか」という議論が高まるでしょう。それにしても楽天は強い。マー君と岩隈の二枚が揃っている。それ以外の試合がどうなるかですが、ダルのない日本ハムは苦戦しそうです。

それでは皆様には良い一週間を。

*《当「ニュース」は住信基礎研究所主席研究員の伊藤(E-mail ycaster@gol.com)の相場見解を記したものであり、住友信託銀行の見通しとは必ずしも一致しません。本ニュースのデータは各種の情報源から入手したものです。正確性、完全性を全面的に保証するものではありません。また、作成時点で入手可能なデータに基づき経済・金融情報を提供するものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。》*